

よい会社をつくろう よい経営者になろう よい経営環境をつくろう

BATPOST

(一社) 広島県中小企業家同友会 福山支部報

2026

3 MARCH

新会員オリエンテーション



Contents

TOPICS.01	●新会員オリエンテーション	————	P.01
TOPICS.02	●全県女性部交流会in福山	————	P.02
	●地区会だより	————	P.02-07
	●部会だより(青年部)	————	P.08
	●委員会だより(経営労働 他)	————	P.08-10
	●デジタル化のお知らせ	————	P.10
	●名簿アプリの地域連携の紹介	————	P.11
	●編集後記	————	P.11
	●企業訪問	————	P.12
	●どういうグルメ	————	P.13
	●支部理事会報告	————	P.14
	●行事カレンダー	————	P.15

県スローガン

Human First!

～新時代へ挑戦～

福山支部スローガン

私たちが創ります私たちの学び舎を

～いまこそ主体的に動こう～



(一社) 広島県中小企業家同友会 福山支部報
発行責任者 広報委員長 春名 孝一郎

〒720-0066 福山市三之丸町8-16 福山ニューキャッスルホテル B1F
TEL 084-923-0286 FAX 084-923-0284
URL <https://www.hiroshima.doyu.jp> e-mail fukuyama@hiroshima.doyu.jp

新会員オリエンテーション

- 日時:2月6日(金)
- 会場:ローズコム
- 参加者数:36名

報告者

建内レンタル(株)
建内 博行 氏

2026年2月6日に、組織委員会主催で新会員オリエンテーションを行いました。今期は地区会部会とのコラボで開催しており、2月はK地区さんとのコラボでおこないました。そして新会員オリエンテーション担当の梨木副委員長がK地区さんと連絡を取り合いオリエンテーションの準備してくださいました。



今回は、新会員さんにオリエンテーションの流れが分かるようにスケジュール表を作成したり、先輩経営者の報告をK地区の建内さんにご報告いただいたり、K地区さんにたくさん関わっていただきました。コラボの目的は、組織委員会以外の方に仲間作りに関わって頂き、仲間作りの意義を広めることでした。

また当日の新会員さんは、7名参加され入会式としてはちょうどよい人数かと感じました。組織委員会の魅力は、新しく入会された経営者との出会いのチャンスが多いこと。その最先端が新会員オリエンテーション。「出会いが人を変える」素敵な時間になったと思います。参加された新会員の皆さん、K地区の皆さん、組織委員の皆さんありがとうございました。

松永花壇
杉田 憲吾 (I)



2025年度 全県女性部交流会

『駄言』って知っていますか？

身の周りのアンコンシャスバイアスを考える

- 日時:2月6日(金)
- 会場:ふなまちベイホール・ZOOM
- 参加者数:69名

講師 日経クロスウーマン編集部
小田 舞子 氏



先日開催された全県女性部交流会は、役員研修大学との合同開催ということもあり、大変充実した学びの時間となりました。講師にお迎えした小田舞子先生は、日経クロスウーマン編集としてのご経験をもとに、「駄言(ダゲン)」という造語を切り口にアンコンシャスバイアスについてお話しくださいました。

「駄言」とは、悪気はなくとも無意識に発してしまう思い込みの言葉。普段何気なく使っている一言が、相手の可能性を狭めたり、知らず知らずのうちに枠をつくってしまったりすることがあると知り、深く考えさせられました。自分では励ましのつもりでも、相手にとってはプレッシャーや決めつけになっているかもしれない——その視点は大きな気づきでした。

経営や職場においても、リーダーの言葉は組織風土をつくります。何気ない声かけや評価の言葉が、社員の挑戦意欲を高めることもあれば、無意識の偏りによって可能性

を止めてしまうこともあるでしょう。今回の学びは、まさに経営判断や人材育成の現場で発揮できる内容だと感じました。

まずは自分の言葉を見直し、思い込みに気づくこと。そして相手の可能性を信じる言葉を選ぶこと。その積み重ねが、より良い職場環境と組織づくりにつながるのだと実感した、有意義な学びの機会となりました。



ホリスティックブレイン学院(株)
藤原 留衣 (B)



A 地区会

経営課題はなんですか？

～参加者全員で大討論会～

- 日時:2月18日(水)
- 会場:市民参画センター
- 参加者数:15名

報告者 参加者全員

2月例会は、『経営課題はなんですか？～参加者全員で大討論会～』をテーマに開催いたしました。

組織づくり、社員教育、雇用、資金繰り、新事業、営業(売上)、後継者問題、社内環境など、多岐にわたる経営課題について、参加者全員で意見を出し合いました。

自社の現状をあらためて分析しながら、「自分はこのような会社を目指したいのか」という本質的な問いに向き合う時間となり、活発で前向きな討論が繰り広げられました。

参加者からは、

- ・自社のビジョンや経営指針を明確にしたい
 - ・討論が新鮮で楽しかった。
 - ・既存の社員をより大切にしていきたい
 - ・少人数でも成果を出せる仕組みづくりを考えたい
 - ・会社全体を見直す良い機会になった
- などの感想が寄せられました。

例会終了後には、参加者の皆さんの表情も明るく、充実した学びと気づきの多い例会となりました。



タシマ観光
今川久美子 (A)



B 地区会

訪問看護事業で福山一になる

～ 裏切られても信じる FUN! FUN! FUN! ～

- 日時:2月16日(月)
- 会場:ローズコム
- 参加者数:51名

報告者

(株)EVERBLUE
村上達則氏



凡そ1年ぶりに参加した地区例会では、新鮮な学びや驚きが沢山ありました。まずは発表者の村上氏の茶髪がド金髪になっていた事。それから何度か話したことはあったものの、職業柄イメージしてなかった、まああの口の悪さでした。

しかし発表された、我々「昭和世代」の常識を一蹴するような村上氏の経営哲学は、極めて真面目で熱い内容でした。村上氏は理学療法士として福山医療センターに就職し、鳥取、米子、呉へと転勤を繰り返して、退職後に会社を立ち上げたそうです。何でも国立病院では「YES」と言わないスタッフは左遷させられる文化があったそうで、その経歴からも村上氏の純粋で付度しない人柄が伝わってきます。



2月会長挨拶

2月趣旨説明

現在は訪問看護・介護事業を経営されており、その違いについての解説は、遠くない将来お世話になる身として、大変勉強になりました。衝撃を受けたのが、採用基準において、「過去や

噂は関係ない。自社に来た時がスタート。仕事さえきっちりやればいい」と言い切り、マニキュア、ハイトーンカラー、タトゥーまでOK。臆病な私にはとても真似できそうにありませんが、村上氏は人の資質を真っ直ぐに見抜く力を感じます。SNSを駆使した採用戦略も含め、破天荒なやり方にかなり興味を惹かれました。

また中期、10年ビジョンも作成されており、激増する競争の中で勝ち残るための「3つの作戦」や経営指針ワンシートの作成など、誰よりも真面目に将来を考え、取り組まれています。少々口が悪くても、スタッフや患者さんへの思いやりと、経営者としての熱い信念を感じました。

ド金髪でも「時代に合った」なんて言葉だけでは片付けられない、村上氏の熱量。型破りなスタイルの中に、揺るぎない村上経営の芯を見せて頂きました。頭髪や服装の厳しい規則で始まる経営指針書、そして経営理念の唱和で始まる弊社の朝礼の在り方なども考えさせられる、良い例会、良い発表でした。

次の小組会での打上げで、話できる事が楽しみです♪



(有)Sense
橋高文彦(B)

D 地区会

同友会行事を活用しよう

- 日時:2月18日(水)
- 会場:市民参画センター

報告者

映クラ(株)
山西健三氏



(株)イアック
内海陽平氏



2月例会は同友会活用塾#21と言うタイトルで福山支部企画委員長内海陽平氏と県総会フォーラム実行委員長の山西健三氏に報告して頂きました。この例会の目的はただ地区例会以外の行事に参加するのではなく、自らが行動していく中で同自社が変わっていくのか。そして参加し関わることでどう自社に活かして来たのかを報告して頂きました。関わることで何を学び、何を実践されてきたかそして行事の目的等も報告して頂きました。

行事にただ参加するのではなく自社の経営課題に何が活かせるのか。またそこで新たな経営課題に気付ける

のかまずは自らが行動していかないと自社にとって何も活かしていけないと感じました。グループ討論でもまず自社の経営課題を出し合い、そしてそれを解決すべき方法などを討論しました。一年前までは経営課題?っていう会員さんもおられました。今回は今の悩み課題が多く聞かれました。ただ言うだけではなく解決の為に同友会を活用しそして実践・行動していかねばならないと改めて思いました。



(有)アイム
池田弘典(D)



E 地区会

E地区・J地区 2月合同例会

いまさら聞けない大人のビジネスマナー

■日時:2月10日(火)
■会場:ローズコム

講師

M Support(株)
前田 明子 氏



今回の例会『今さら聞けない大人のビジネスマナー』では、G地区所属のM Support(株) 代表・前田明子氏にご報告いただきました。前田氏は法人向け研修講師として、ビジネスマナーやコミュニケーション、ハラスメント対策、アンガーマネジメント、キャリアカウンセリングなど幅広い人材育成研修を実施されています。今回の狙いは、「基本ほど、人は見ている」という視点から、経営者の所作や言葉遣いがそのまま会社の顔になるということを改めて学ぶことでした。

報告の中で特に印象に残ったのは、「礼儀は型、礼節は心の姿勢」という言葉です。形だけ整えるのではなく、相手を思いやる気持ちがあってこそ本当のマナーになるという話に深く共感しました。また、第一印象は7、8秒で決まるという初頭効果の重要性についても、日々の仕事を振り返る大きな気づきとなりました。

さらに、マナーから組織文化が見えるという話も非常

に腑に落ちました。挨拶や言葉遣い、立ち居振る舞いの一つ一つが会社の評価につながり、良い会社には礼儀と礼節が自然と根付いています。コミュニケーションの土台はマナーであり、マナーが整うことで信頼関係も築かれるのだと学びました。

自社オリキンに置き換えると、まだまだ接遇面の徹底が不足しており、技術やスピードだけに意識が向いていたことを反省しています。しかし、お客様から選ばれる会社になるためには、人としての基本姿勢や第一印象こそが最も重要であると今回強く感じました。

今後は私自身が率先して正しいマナーを実践し、社員教育にも取り入れながら、来客時の挨拶や対応を徹底し、会社全体の文化として礼儀と礼節を根付かせていきたいです。そして地域から信頼され、安心して仕事を任せただけの企業を目指していきます。



(株)オリキン
茂原 祥司 (E)

F 地区会

企業を守る労務解説

■日時:2月18日(水)
■会場:市民参画センター
■参加者:24名

講師

吉田労務事務所
吉田 健一 氏



2月18日、福山市民参画センターにて広島県中小企業家同友会福山支部F地区2月例会を開催しました。テーマは「その指導、本当に大丈夫ですか?〜パワハラと不当解雇の境界線を考える〜」。F地区地区会長である吉田労務士を講師に迎え、実践型の学びを行いました。

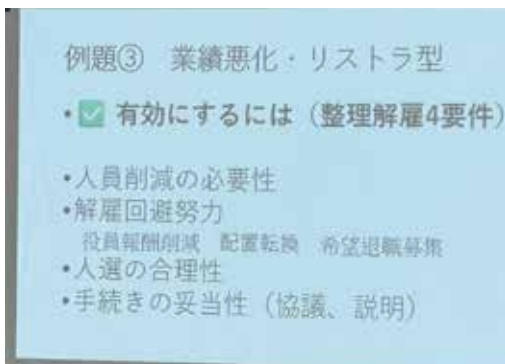
今回は講義形式だけでなく、パワーハラスメントチェックワークや解雇事例討論を取り入れた参加型例会としました。各テーブルで活発な意見交換が行われ、経営者それぞれの判断基準やリスク認識の違いが浮き彫りとなりました。

解説では、ハラスメントの法的定義や不当解雇と判断されるポイント、日頃からの記録や就業規則整備の重要性について具体的に示されました。「感情ではなく仕組みで守る」という言葉は、多くの参加者の胸に響きました。

F地区年間テーマ「自分自身の発信」のもと、主体的に学び、議論し合う例会となりました。労務は他人事ではなく、自社を守る経営課題であることを改めて実感する有意義な時間となりました。



(株)TK ONESTEP
津田 浩一 (F)



G 地区会

事業承継とは会社の文化の承継です

～明文化できない“らしさ”をどう引き継ぎ、どう変えるか～

- 日時:2月16日(水)
- 会場:ローズコム
- 参加者数:23名

報告者 (株)くるま生活
井上 康一氏



G地区2月例会は、(株)くるま生活の井上氏に『事業承継とは会社の文化の承継です』をテーマに発表していただきました。自社ではすでに事業継承をされた井上さんですが、今回の発表をもって同友会活動も次代と交代ということで同友会最後の発表となりました。自らも先代から承継し、同友会での学びのなかから試行錯誤しながら経営し、そして次代に承継するという経験をした視点や想いの内容をお話いただき、非常に多くの学びがありました。

事業承継とは資産の譲渡ではなく、その会社が持つ時代に合わせて変化していった「自社ならではの強み」を



司会進行
(兼田氏)

企画・運営
(赤崎 G)

お任せあれ!
(池田 健一氏)

(株)くるま生活
井上 康一氏

「らしさ」という目に見えない価値を次代へ繋ぐことも大切なことだと思いました。また、グループ討論では、「自社らしさとは何か」というテーマで話し合いました。なかなか明文化できないことですが、参加者が他社の「らしさ」を聞くことで自社について改めてどのような会社かを見直す有意義な時間となりました。



(株)金浦紙器工業所
小見山 直己(G)



1G 報告 (亀井氏)



2G 報告 (狩野氏)



3G 報告 (森本氏)



4G 報告 (高田(寛)氏)



5G 報告 (越智氏)



感謝の気持ちを花束に込めて

I 地区会

見えない景色が見えた 経営指針書との出会い

思考と処理する能力を磨く
想いを仕事に変える学び

- 日時:2月16日(月)
- 会場:西部市民センター
- 参加者数:21名

報告者 Kyykx.s Product
佐藤 佑樹氏



報告はKyykx.s Product 代表 佐藤祐樹氏。義肢装具士として医療とものづくりの現場に立ちながら、経営指針書と向き合った過程を率直に語られました。

経営労働委員会で「理念が表面的ではないか」と指摘を受けたことをきっかけに、自身の原体験まで掘り下げて言葉を練り直し、「子どもたちに未来を残すために、憧れの大人・仲間を増やす」という理念にたどり着くまでの思考のプロセスが共有されました。

制度の壁や業界の慣習によって本当に必要なタイミングで関われない葛藤がある一方、「もっと早く関われば」という悔しさを原動力に、普段の生活に“きちんとしたインソール”を届け、姿勢や痛み、疲れの改善を通じて人生の豊かさを支えたいという想いが語られました。経営指針書を学ぶことで、点在していた想いが線になり、目的を持って人に会うことで仲間が増えたという変化も印象的でした。

討論では、「想いは伝わって仕事につながっているか」をテーマに、理念を商品・サービスにどう反映させるか、

ターゲットをどう絞るか、伝え方をどう工夫するかを意見交換しました。理念を掲げるだけでなく、伝わる言葉に整え、行動と発信に落とし込むことの重要性を確認できた例会となりました。



(株)ジョージア園芸
村上力(I)



J 地区会

E地区・J地区2月合同例会

いまさら聞けない大人のビジネスマナー

- 日時:2月10日(火)
- 会場:ローズコム
- 参加者数:21名

講師

M Support(株)
前田 明子 氏



J地区の2月例会はE地区さんとの合同例会でした。テーマはビジネスマナーです。講師はG地区のM Support(株)前田明子氏に務めていただきました。

経営者にとってビジネスマナーとは何か。言葉遣い、姿勢、立ち振る舞いなど、日ごろの業務で必要とされるスキルであり、自社の顔を形づくる土台です。そして、共に働く従業員に伝えていかなければならないことです。

そんな当たり前に思っている基本を、あらためて振り返る目的は为什么呢。それは、ささいな不安を取り除き、今一度自社の土台を見直し、自信をもって業務に励むためだったのではないかと考えました。

普段の地区の活動ではご一緒することのない、E地区の会員の皆さんと名刺交換や挨拶の練習をしました。多様

な業種の経営者の方々と交流する中で、前田氏から「気の利いた一言」「残心」という言葉を教わりました。それは、ちょっとした声掛けや、動きを少しとめてみることの大切さです。

忙しい日々の経営の中で、TPOにあわせた所作、美しい言葉遣い、正しい知識を習得し実践していかなければいけません。しかし、それらが完璧でなくとも、目の前にいる相手を想う心があれば、身体はその人を向き、ふっと言葉が出てくるのかなと思います。そのためにも、日ごろから経営者としての自分の心を問い直しながら、従業員やお客様、同友会活動に向き合っていきたいと思います。



鍛冶屋農園
赤木 昭弘 (J)

K 地区会

福山支部入会式

- 日時:2月6日(金)
- 会場:ローズコム
- 参加者数:15名

報告者

建内レンタル(株)
建内 博行 氏



K地区2月例会は新会員オリエンテーションでの入会式の参加と運営を行いました。今回の体験発表はK地区では何度も発表されている建内氏です。建内氏は、同友会活動を釣りに例えて「魚を与えられるのではなく、魚の釣り方を学ぶ。同友会はそんな場所」

そして3つの柱である、仕事、健康、家族どれもバランスよく大切に実践されていて、仕事では24時間電話受けをされ、お客様の対応を即実践され、顧客満足度も高く、社員さんの休日もしっかり取れるような仕組みにされていました。そんな社員さんとも距離間が近い関係を築かれていると、社員さんのインタビューで感じ取れました。

グループ討論では、「同友会への入会のきっかけは何ですか」というテーマで意見交換をしました。入会を何年も断った方が今や地区長や委員長を経験する方や、10年以上の会歴で例会欠席が2回。貴重な例会を逃さないようにという熱心な会員の方など、入会きっかけは様々ですが、自社を良くしていきたい、学びたいと今も思われてこの場にいる、そして今日入会式に参加された方々からも「これからスタート、何でも吸収するぞ!」という熱気が伝わった熱い例会でした。

21年前に入会した私も新たな目標に向かって学びたいと思いました。



(株)ニューヴィークル
助友 洋子 (K)



P 地区会

地区会活動と経営は不離一体？

～事務局から見た同友会～

- 日時:2月20日(木)
- 会場:ローズコム
- 参加者数:15名

報告者

福山事務局
本田 芙美氏



P地区会の2月例会は、福山支部事務局 本田芙美氏に登壇いただきました。第一部で本田氏の説明により同友会の基本理念、同友会の活用法などを再確認しました。第二部で本田氏の経験に基づく事務局から見た同友会について一問一答形式で私たちの疑問に答えていただきました。上記を踏まえて、グループ討論テーマは「同友会の姿勢、会社での姿勢」。討論を通じて各自が自身の姿勢を振り返る目的で行いました。

本田氏の「全体の中で地区会の立ち位置を俯瞰で考えてみると新たな気づきがある」との意見は、視点を意識的に切り替えることの重要性を気づかせてもらえました。また「事務局も会員と共に同友会理念をめざす一員である」という言葉を聞いて、私の認識の浅はかさに恥ずかしい思いでした。

討論で印象的だったのは先輩が「振り返ると私たちはP地区の先輩にたくさん教えてもらった。私は自分がしてもらったことを後輩に返せていないと反省している」とおっしゃったこと。誰かを思い、行動することが学ぶことに

繋がると教えてもらったのだと理解しました。

今期のP地区は「変えるのは行動!変わらないのは志!」というスローガンを元に活動をしてきました。スローガンが求める「信念をもち変革をすること」とは普段の「姿勢」あつてのものだということをつめた例会でした。

ただ受け身で何かを得ようとするのではなく、自分はどんな価値を提供できるのか、自分はどんな役目を果たすことができるのか、自主的に取り組む姿勢をもってこそ、その行動の中から学びや成長を得ることができるのだと、痛感しました。



(株)恵木製作所
恵木 智士(P)



S 地区会

お客様と社員の笑顔のために

10年後の魅力ある会社へ ～現在とこれから～

- 日時:2月18日(水)
- 会場:ベーシックホール
- 参加者数:96名

報告者

日山塗装(株)
日山 千代氏



今回の例会では、日山塗装(株)専務取締役の日山千代氏に体験発表を行っていただきました。保育士から塗装業の世界に入り、もともと塗装業を営んでいたご主人を支える形で営業に携わるようになった日山氏。悩みや不安を抱えながらも前向きに挑戦されてきた歩みには、多くの参加者が共感しました。

特に印象的だったのは、同友会で学んだことを自社に落とし込み、実際に行動に移している点です。経営指針書づくりやSWOT分析、広告や営業方法の見直し、DXの導入など、できることから少しずつ実践されており、学びを形にする大切さを改めて感じました。また、地域に信頼される

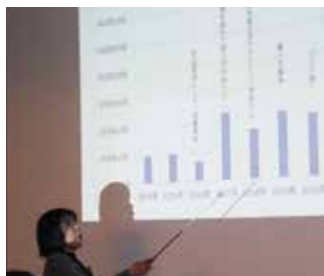
会社を目指して発信を続ける姿勢も印象に残りました。

さらに、社長との想いの共有や社員との関係づくりについて率直に語られたことも心に残りました。お互いに支え合いながら会社をより良くしていこうとする姿や、社員が安心して働ける環境づくりへの取り組みから、組織づくりの大切さを学ぶことができました。

今回の例会を通じて、私たちも学びを自社に活かし、まずは行動していくことの大切さを改めて実感することができました。



(株)ウエルホーム
藤原 敦子(S)



青年部

個が生きるチーム作り ~迷監督から名監督への道のり~

■日時:2月2日(月)
 ■会場:県民文化センターふくやま
 ■参加者数:43名

報告者

follow(株)
妹尾 直道 氏



福山支部青年部会の2月例会は妹尾 直道氏 (follow (株)) による体験発表でした。今回は主に、創業者としての苦悩や、人材育成の難しさについて、責任についての内容となりました。

妹尾氏は、従業員さんに対する責任とは何か、経営者としての責任とは何か、創業4期目が終わりを迎える今、思うことや、実体験を語って下さいました。妹尾氏の創業のきっかけは、第二子の誕生でした。1期目は赤字を出し、当時の右腕的存在も急に辞めてしまい、絶望のさなか、同友会に入会されたそうです。その後、従業員さんを雇い、現在はその方の希望通りの働き方が出来ているとのこと、妹尾氏の中での小さな成功体験であるとのことです。

コンビニよりも数が多い鍼灸院で、当初は赤字を出したものの、現在では右肩上がりに業績を伸ばされている妹尾氏。戦略については、業務連携構築による双方のリスク軽減を考えられているとのこと。起業して失敗してしまうリスクを減らし、少しでも多くの鍼灸師さんを導く会

社を目指し、新たな仕組みづくりをされているそうです。

実際に直近で入社された従業員さんの育成や、役割、スキルについて深く考え、法人営業の新たな取組として、自社のサービスの数値化及び分析システムの構築、パンフレット作成、プロの営業の方から営業の技術を学ぶ機会を設けるなど、正社員さんの為に努力を惜しまない姿勢には、見習うべきだと感じました。また、これからの展望についても触れられ、業界水準の給与の1.5倍を従業員さんに渡せるような会社を目指されているとのこと。

初期の頃に人に裏切られた経験や、会社が危うい状態の時期のお話など、皆さんに参考になる内容だったのではないのでしょうか。



三備(有)
高木 玲音 (D)



経営労働委員会

経営のキホンの“キ”シリーズ 「経営基礎講座」東部エリア 2クール第5講 財務計画編

第2回 方針に沿った財務計画を立てよう!

■日時:2月5日(木) ■会場:事務局・Zoom・サテライト
 ■参加者数:30名

講師

(株)CFパートナーズ
峠本 正喜 氏



令和8年2月、福山支部 経営労働委員会 経営指針塾 基礎講座の最終回に参加した。今回のテーマは財務計画とブロックパズルであり、方針を数字に落とし込み、経営の全体像を組み立てる学びであった。

グループ討論では、介護事業をされているMさんの話から、診療報酬を主な収入源とする事業において、変動費の考え方に苦慮していることを話された。従業員10人以上を抱える中で、「ボーナス支給後に通帳残高の急激な減少に気づき、会計管理の重要性を痛感している」など、具体的な話も多く聞かれ、アドバイザーからは、変動費の判断基準として「売上ゼロの時にかからない費用が変動費」という考え方、ガソリン代は変動費、車検や保険は固定費に分類すべきとアドバイスをされていた。

変動費と固定費の分類や、利益と資金の違いについて具体的な事例が勉強になり、「売上がゼロの時に発生しない費用が変動費」という基準は理解しやすく、黒字企業の労働分配率は概ね50%が目安であることを教えてもらった。また、黒字であってもキャッシュが不足する事例や、人件費の6ヶ月分の現金確保の必要性など、資金繰りの重要性を改めて感じた。

では、自社の場合はというと、個人商店レベルの経営について、売上、商談客数、受注額という具体的な数字の話をして、第1固定費(保険・厚生年金等)と第2固定費(販促費等)に分けた管理を行っている

事。60歳を迎える中で3年ビジョンの策定を検討している事をグループ討論で話した。しかし、今回の趣旨であるブロックパズルとうレベルではなく、必要最低利益の根拠や将来の資金残高まで明確に描けていないことが課題として浮き彫りになった。日々の業務に追われ、売上を追うことに意識が偏り、利益構造や資金の流れを深く考える時間を確保できていなかったこと、グループ討論の話を聞きながら感じた。

今回の学びを通じて、経営とは単に売上を作るのではなく、方針に基づき数字を組み立て、未来の姿を具体的に設計することだと理解した。今後は時間を確保してブロックパズルを完成させ、自社の必要利益と資金の裏付けを明確にした経営指針を作り上げたい。そして発表会では自社の課題を率直に共有し、更なる学びにつなげていきたいと思う。



(有)かの石材
狩野 寛和 (G)



■日時:2月13日(金)
 ■会場:同友会事務局
 ■参加者数:13名

報告者 (株)カワムラ機工
 河村 直孝 氏



環境経営委員会2月度勉強会は、(株)カワムラ機工 河村直孝氏を報告者に迎え、GX(グリーントランスフォーメーション)事例報告の勉強会を行いました。

GXとは再生可能エネルギーへの移行を目指し、温室効果ガスの削減と経済成長を同時に実現するための取り組みです。河村社長がGXに取り組むスタートは、卸業として価格競争から脱却したい、という危機感でした。さらに、取引先からのサプライチェーン排出量削減への要求の高まりによる必要性からでした。

とは言え、中小企業版SBT(中小企業が取得できる温室効果ガス削減に向けた認定)の認証取得については、当初は懐疑的だったといいます。認証を取得しても必ず実績に結びつくわけではなく、労力とコストをかけて取り組む意味があるのか?と。



しかしながら、自社が扱う「省エネ・環境改善商材」に説得力を持たせるために、科学的根拠に基づいた目標設定を社内外へ示したい、また、まだ同業者がどこもSBT取得をしていないことも大きな理由の一つでした。

現在も、温室効果ガスの削減を年4.2%ずつ削減するという取り組みを全社で継続中です。

実際に取り組みをした効果は、非常に大きく、顧客からは環境対応の相談が増え、価格競争以外の価値で選ばれることになりました。特筆すべきは、価格競争からの脱却により、営業方法が変わり、営業社員のやりがいや満足感につながったこと。

これこそがGXであり、新しい市場・事業機会の創出や人材・ブランド価値の向上など経済成長を実現したと言えるでしょう。

今後も、卸業の価値の提供を目指す河村社長の「環境経営は経営戦略である」と言い切る一言が印象的でした。



M Support(株)
 前田 明子 (G)



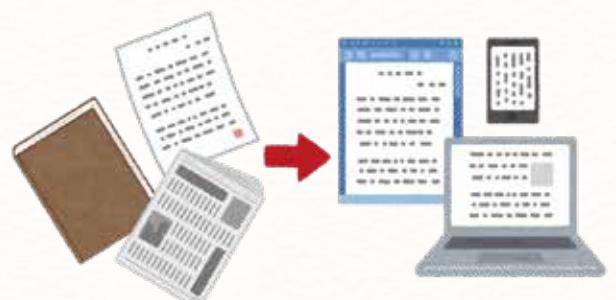
デジタル化のお知らせ

『同友ひろしま』は2026年4月より 紙発行を廃止し、デジタル化します

長年ご愛読いただいている広島同友会の広報誌『同友ひろしま』は、2026年4月より発送費等の費用高騰などの理由から紙発行を廃止し、デジタル化することになりました。形は変わりますが、引き続き同友会や会員の魅力、会活動について発信してまいります。

2026年4月以降は、会員向けのe.doyuや、広島同友会ホームページからご覧いただけるよう準備を進めています。詳細は3月号『同友ひろしま』および、e.doyu掲示板、広島同友会ホームページにてお知らせします。

(広報部)



名簿アプリの地域連携紹介

名簿アプリに新機能が追加されました! ~他地域連携~

名簿アプリに新しい機能「他地域連携」機能が追加されました。この機能は、名簿アプリを使っている同友会間で、連携機能を「オン」にした会員同士が条件ですが、お互いを名簿で検索できる、他県同友会会員ともグループを作ってやりとりできるようになります。

初期設定は、オフ(使わない)になっています。利用希望の方はご自身で名簿アプリの設定画面から「オン」にしてください。

なお、名簿アプリを使っている同友会は、2026年1月末現在、岩手・新潟・茨城・大阪・愛媛。このうち、他地域連携機能を導入決定しているのは新潟で、他の同友会はこれから検討するところです。

(広報部)

お問合せは、事務局橋本（電話 082-241-6006）まで



詳しい設定方法はこちら

編集後記

BATPOSTを よろしくお願いします

広報委員会にはこんなメリットがあります

- ・自地区の会員のアピールを広報誌でできる
- ・行きたい会社を会社訪問で行ける可能性がある
- ・他地区の情報が入手できる
- ・支部の流れが把握できて地区に情報共有で地区の活性化が期待できる
- ・宣伝、SNSなどの関係会社の会員と仲良くなれる

僕が広報委員長で得た役得

- ・広島では有名なインフルエンサーや社内広報に強い会員と出会えた
- ・各委員会の動きがなんとなくわかった
- ・福山支部だけでなく他支部に相談できる環境ができた
- ・同友会をもっと理解できた

自地区だけでは見えないことがあると僕は思っています。

まずは支部例会や委員会そして県総会や経営フォーラムそして全国行事に参加する人が一人でも増えるように今後もバットポストは継続していきます。これからもバットポストを宜しくお願いします。



クイックマッサージ
デライト
春名孝一郎(F)



ファームデザインズキッズ

■ 訪問日時: 3月18日(水) ■ 訪問者数: 3名

代表取締役 濱原 幸恵 氏
(B地区会)



広報委員会企業訪問にて、女性部でも大活躍のデイズ(株)代表取締役 濱原幸恵さんが運営する、「ファームデザインズキッズ」にご訪問させていただきました。トレードマークのかわいい牛をモチーフにした素敵な店舗で、こだわったスイーツを囲み楽しくインタビュー開始。



もう一つ、濱原さん自身の心に変化があった出来事がある、濱原さん自身の大病だったそうです。「人はいつ死ぬか分からない。日々を大切に生きなければ」それは、濱原さんだけでなく、周りの人にも当てはまると思えるようになった時、他人尊重の気持ちがさらに広がったそうです。その結果、会社のメンバーに伝わり、以前に増して、お互いを思いやれる理想の組織になったそうです。

最後に、ここまでの事業展開でその先にあるのは?という質問に、「要支援者さんの自立」ですというご回答でした。その言葉を体現するように、店舗では、なんと7年もお勤めの要支援スタッフの方に、接客と素晴らしい笑顔もいただきました。ご興味がわいた方、ぜひ店舗へ足をお運びください!



松本ギフト(株)
松本 勝彦(A)



元々、サラリーマンとしてお勤めだった濱原さんですが、起業するきっかけは、母親が病気、支援が必要になったことでした。

当初は、社会貢献というより、先ず母親の居場所を作るために就労支援事業所を起業。不安などは無かったの?という質問に、「先ずやってみる」というご回答で、濱原さんの行動力の凄さに驚きました。

当然、起業当初は、ご苦労もあったそうですが、様々な方に支えられ、乗り越えられたと感謝を述べられていました。濱原さんの熱心さと行動力が、人を惹きつけて止まないのでしょうね。



ファームデザインズキッズ

住 広島県尾道市高須町 403-20
TEL 084-838-9938
営 11:00-17:00
休 木曜日

Instagram



どいう? グルメ

福山のグルメを紹介! 取材:原田メガホン

福山で、一番沖縄に近い店。

沖縄雑貨とお食事 いちやりば



福山市の街なかに、沖縄の空気を感じられる店がある。沖縄料理を入口に、文化や人のつながりまで伝える場所だ。その一皿と空間には、沖縄と福山をつなぐ経営の想いが込められている。

看板メニューはゴーヤーチャンプルー



ゴーヤーチャンプルー 990円

沖縄ではゴーヤーとポーク、卵だけというシンプルな料理だが、いちやりばでは野菜を多く使い子どもでも食べやすい味に仕上げている。ゴーヤーの苦味は、種の取り方や下ごしらえによって大きく変わる。沖縄の文化を大切にしながら福山の人の舌に合うように微調整する。そのバランスこそがこの店の料理づくりの特徴だ。



もとぶ牛とアグー豚のハンバーグ 990円



海ぶどう(あればラッキー) 880円

「福山で一番沖縄に近い場所」

店のコンセプトは「福山で一番沖縄に近い場所」。料理だけでなく、店内の空間づくりにも沖縄の文化が取り入れられている。



雑貨や器にも沖縄の文化を



店内には琉球ガラスややちむん(沖縄の焼き物)、サンゴの化石からできた琉球石灰岩などが並ぶ。食事を楽しみながら、沖縄の文化を感じられる空間になっている。こうした雑貨や器の多くは、沖縄の作家や職人から直接仕入れており、天満屋 福山店などで定期的に販売も行っている。作り手の顔が見えるものを扱うことで、商品の背景にある文化やストーリーも伝えていきたいという思いがある。

沖縄との出会いが人生を変えた

沖縄との出会いは会社員時代。仕事中に倒れ、救急搬送された経験がきっかけだった。「人はいつ死ぬか分からない。それなら悔いのない生き方をしたい。」そう考えたとき、大好きだった沖縄に関わる仕事をしたいと思った。

人とのつながりが、この店の原点

店の看板には沖縄の言葉が掲げられている。「一度会えば皆兄弟」。沖縄では人とのつながりをとても大切にする文化がある。その思いから、飲食だけでなく沖縄関連商品の物販や沖縄ツアー、移住相談、ビジネスコーディネートなど、沖縄と福山をつなぐ活動も行っている。



第二の故郷・福山から沖縄へ

出身は山口県だが、大学卒業後に福山へ。30年以上暮らすこの街は、いまでは第二の故郷だという。将来は沖縄にも拠点をつくり、福山と沖縄をつなぐパイプをさらに太くしていきたいと考えている。福山の街にありながら、沖縄の空気を感じられる店。そこには、人と人をつなぎたいという経営者の想いが息づいている。



沖縄ビジネスサポート
原田 公晴 (B地区会)

店舗情報

沖縄雑貨とお食事 いちやりば

- 住** 広島県福山市笠岡町 2-25
- 営** 月・水・木・祝前日:17:00-23:00(料理L.O.22:00)
金・土:17:00-23:30(料理L.O.22:30)
日・祝日:15:00-21:00(料理L.O.20:00)
- 休** 火曜日



1) 議案委員会から報告「25年度の総括案と26年度の方針案の修正」

【掛江総会議案委員長】

- ・前回の支部理事会でご確認いただき、個別でも修正案をいただきました。それらを踏まえてご確認下さい。
- ・3月理事会で最終確認を行い、4月には配信を行い皆さんからの質問を受け付けます。5月上旬に質問への回答をおこない、総会で提案します。
- ・総会議案書はデジタル化します。ダウンロードしておけばいつでも閲覧することが出来ます。議案書を見ていただくために、広く会員に周知をしていく必要があります。
- ・質問・意見がありましたら、掛江総会議案委員長・事務局までお願いします。
総括の追加・修正点)※掛江議案委員長から解説がありました。
- ・「スローガンを振り返って」を追加しました。
- ・重要方針の「はじめに」にある一社もつぶさないに対する総括を追加しました。
- ・重要方針①経営指針の成文化と実践では、経営指針成文化率の数値をいれます。採用と育成・定着では「人を生かす経営」というワードを多く追加しています。
- ・重要方針②例会の充実では、支部・地区・委員会の役割を明確にしています。孤独な経営者をなくすことへの内容を追加しています。
- ・総括のまとめを追加しました。
方針の追加・修正点)※掛江総会議案委員長から解説がありました。
- ・スローガンを「私たちが創ります 私たちの学び舎を～出会い・学び・実践～」に決定しました。出会いは仲間づくり、学びは例会の充実、実践は経営指針と、重要方針とリンクしています。
- ・重要方針のすべてに「人を生かす経営」の考えをベースにしています。
- ・重要方針①経営指針成文化と実践には「激動の時代の中、会社の維持発展には経営指針書が必要不可欠です」という文言を追加しました。成文化されていることが前提ではなく、これから作成していく人に向けた内容にしています。成文化している人向けの言葉も追加しています。
- ・重要方針②例会の充実では、次年度は議案書の中に「地区会運営の手引き」「地区例会運営マニュアル」の資料を追加します。
- ・方針①企業づくりでは、「GX」を追加しました。「経営者のモチベーションをあげる」という文言の「経営者」を削除しました。
- ・方針②同友会づくりでは、「地区例会は体験報告を中心にする」という文章を追加しました。
- ・方針③地域づくりでは、「災害対策に備えていく」の文言を追加しました。
- ・まとめに「ローカルゼブラ企業」を明記しました。ローカルゼブラ企業とは地域課題を解決しながら持続可能な経営をめざす企業です。地域の課題を考えながら、安定して経営できる企業がこれから必要と考え追加しました。

2) 「支部理事宣言書を振り返って」 支部理事スピーチ

※支部理事宣言書にそって振り返りがありました。内容は省略します。

■まとめ 【藤井友副支部長】

- ・宣言書を見ると自身の担当部署をよく理解し、目標を立てられていると思いました。次期に引継ぎ、これで終わりにしないようにすることが大事だと感じました。
- ・目標を書いたことで近づけようとするために、見えない努力をされたと思います。そのおかげで福山支部が成り立っていると思います。残り2か月ありますがよろしくお願ひいたします。

【報告・連絡】

3) 委員会

①総務委員会 【田中委員長】

- ・今期の振り返りを、肅々と総務委員会を運営をしていたつもりですが、委員の方から「変わったことをしているから心配」と言われました。別の方に聞くと「変わっていない」と言われました。捉え方は経営者によってまちまちだと感じました。そういった話が委員会の中で出ているということは、見てもらえているということなので嬉しく感じています。

②企画委員会 【内海委員長】

- ・5/13(水)の支部総会では、支部長・副支部長・地区会長の所信表明を企画しています。各地区新会長さんに出席いただければと思います。

③広報委員会 【春名委員長】

- ・4月から毎月届いていた発送物がなくなります。より一層BATPOSTを活用していただきたいです。
- ・BATPOSTは今期間覧数を可視化し、平均165名ほど見ていただいていることがわかりました。このあたりの指標をうまく活用して委員会として連携できればと思います。

④経営労働委員会 【高山委員長】

- ・3/26(木)に基礎講座受講生の成果発表会をローズコムで行います。各地区会から参加いただければと思います。新会員さんにも指針書とは何かを見ていただく良い機会になると思いますのでお声がけをお願いいたします。

⑤求人社員教育委員会 【森川社員教育委員長】

- ・4/1(水)に合同入社式、4/2(木)～4/3(金)に、新入社員研修を開催します。「人

を生かす経営」を研修の目的として大切にしていきたいと思ひます。

⑥バリアフリー委員会 【上堂委員長】

- ・4/8(水)の委員会では(特非)ちゃんくす 西上氏(三原支部)に報告いただきます。3月求人社員教育委員会の流れで参加していただければと思います。
- ・5月支部総会から委員会の名称を「地域共生委員会」に変更します。

⑦政策委員会 【塩出委員長】

- ・今年度第2回目の県政策委員会のアンケートにご協力ありがとうございました。回答数443名、回答率66.7%と、過去最高の結果となりました。特にG地区87%、J地区86.1%と高い数字を挙げていただき、また青年部は100%の回答をいただき感謝しています。
- ・アンケートは地区会の活性化につながると思ひます。数字を上げることを目的とせず、コミュニケーションのツールとして活用いただければと思います。次回委員会ではアンケートの解説を行いますので、ぜひご参加ください。

⑧環境経営委員会 【高橋委員長】

- ・4/10(金)にフクビズさんにお越しいいただき、地域課題解決に向けた勉強会を開催します。

4) 地区会・部会

※今月の報告はなし

5) 県関係の報告

①県理事会の報告 【山西県理事】

- ・経営フォーラムの収支報告、県総会の企画、事務局員の採用、事務所移転検討委員会より「リファレンス広島小町」を第一候補とし8月頃の移転をめざすこと、web運用ルールについて承認されました。
- ・県総会は5/26(火)にリーガロイヤルホテル広島で開催されます。総会のため議案の成立にむけ参加・委任状をよろしくお願ひいたします。総会の後、福山・広島東・備北支部で分科会を設けます。企業づくり・同友会づくり・地域づくりがテーマです。

6) その他の報告

①次年度の支部理事について 【田中役員選考委員長】

- ・1月末時点で執行状況の目安83.3%に対し、66.2%の執行状況です。
- ・支部例会費の予算残高736,952円が3月支部例会の費用になります。
- ・年間の決算予想を見ますが、予算の範囲内で終わる予定です。

②支部活動費の執行状況 【田中総務委員長】

- ・1月末時点で執行状況の目安83.3%に対し、66.2%の執行状況です。
- ・支部例会費の予算残高736,952円が3月支部例会の費用になります。
- ・年間の決算予想を見ますが、予算の範囲内で終わる予定です。

③支部理事増強の進捗 【杉田組織委員長】

- ・委員長に就任した当初、支部理事増強は必要ないと思ひていました。新会員さんと関わっていくうちに、同友会とどう向き合っているか確認するための作業でもあるのかと思ひました。そのために支部理事は、自分がどう関わっているかを見直してどう伝えるかの勉強になりますので今一度向き合っていたいただければと思ひます。

④今後の支部理事会について(3～4月) 【豊田支部長】

- ・3月は現新合同で理事会を開催します。4月は2年間お疲れ様でしたの意味も込めて打ち上げを併せて開催できればと思ひます。詳細は決まり次第ご案内します。
- ・4月理事会は定例日が祝日と重なっている関係もあり、4/27(月)に開催予定です。イレギュラーではありますが、日程調整をお願いいたします。

7) 【承認事項】

①入退会の承認

■入会希望者(3名)

- ・(株)ameri 部長(後継者) 小林 亮(A)
事業概要:美容施術と建物清掃・設備管理を行う総合サービス
- ・(有)久保鉄工 代表取締役 久保 宏昌(B)
事業概要:金属部品加工(NC旋盤・マシニングセンタ等計30台)
- ・(株)こまのや 代表取締役 川西 啓二(P)
事業概要:米飯製造

■退会希望者(4名)

- ・スナックK 代表 ヤマト ケイ(B)
- ・岩部アポロ(株) 代表取締役 岩部 昌浩(F)
- ・小林聖司税理士事務所 所長 小林 聖司(S)
- ・(株)武田組 代表取締役社長 武田 直樹(S)

以上承認されました。

これにより福山支部の会員数は651名になりました。

【訂正報告】

- 1月県理事会で長期滞納による会員資格の喪失1名(1月末会員数652名)

(文責 事務局 中野)

4月行事案内

一般社団法人広島県中小企業家同友会 第44回福山支部定時総会

全体行事

私たちが創ります 私たちの学び舎を
～出会い・学び・実践～
《記念講演》
新支部長・新副支部長・新地区会長
の所信表明

日時：5月13日(水) 受付18時00分
開会18時30分 閉会21時30分
(総会・記念講演・懇親会)

会場：福山ニューキャッスルホテル
(福山市三之丸町8-16)

特別会費：9,000円(懇親会費)
5/7以降の懇親会キャンセルはキャンセル料が発生
いたします。

日	曜	全体行事	委員会・部会	地区会、他
1	水	合同入社式	企画	
2	木	新入社員研修	経営労働	
3	金	"	組織	
4	土			
5	日			
6	月		青年部	
7	火		政策	
8	水		バリアフリー	
9	木		地域内連携推進	
10	金		環境経営	
11	土			
12	日			
13	月			
14	火		求人社員教育	
15	水			D,F,G,K,S
16	木			B,P
17	金			A
18	土			
19	日			
20	月	県理事会		I
21	火	正副		E,ダイヤ
22	水			J
23	木			
24	金			
25	土			
26	日			
27	月	支部理事会	総務	
28	火		広報、女性部	
29	水			
30	木			

地区	日時	会場	会費	内容
A地区総会	4月17日(金) 18時30分開会	元町ホール	無料	定時総会を開催し、現地区長の総括・新地区長の活動方針を会員全員で共有し新しい期のスタートを飾るとともに、懇親会にて更なる親睦を図ります。
B地区総会	4月16日(木) 19時00分開会	ローズコム	無料	2025年度の活動の総括、会計報告を行います。また、2026年度からの新会長をはじめ新役員承認、紹介を行い、新たな2年間のスタートを切ります。
D地区新体制スタート！ 小組会から盛り上げよう！	4月15日(水) 19時00分開会	しゃぶ吉	7,000円	4月からの新体制スタートに伴い、小組会からの地区会組織活性化を目的として新体制での懇親会を開催します。
2026年度 E地区総会	4月21日(火) 18時30分開会	又来軒	8,000円	2026年度総会 今年度の振り返りと新地区会長による方・年間スケジュール針発表および役員発表を行います。
F地区総会	4月15日(水) 19時00分開会	元町ホール	6,000円	前年度の決算報告と、今年度の予算を決定します。前年度決算内容の周知、承認、地区運営の総括、今年度の新体制、予算承認、方向性の周知を行います。
あなたの知らないお米の世界 ～令和の米騒動を知る～	4月15日(水) 19時00分開会	市民参画センター	無料	G地区メンバーの小島氏が初めて報告します。昨今世間を騒がせた「令和米騒動」について、氏の現場での体験と現場感での分析を報告して頂きます。
総括 2025年度の振り返り例会	4月20日(月) 19時00分開会	西部市民センター	無料	2025年度指針・地区例会の振り返り、委員会や支部行事の振り返り等を行います。
J地区総会	4月22日(水) 18時30分開会	ダイニングバー Pit Bull	5,000円	前年度の活動成果を振り返り、令和7年度の地区方針や予算、役員体制を会員全体で承認・共有します。「総会」「懇親会」の二部構成で行います。
K地区ぶれない経K営総会	4月15日(水) 19時00分開会	dog lounge yaburo	7,000円	地区会長、各小組長の振り返りを行い1年間の総括をします。それぞれに振り返りを行うことで、来期役員をされる方へ引継ぎを行います。
P地区総会	4月16日(木) 19時00分開会	ローズコム	無料	P地区総会として2年間の総括と来期の方針発表を行います。
S地区総会・新会員PR例会	4月15日(水) 18時30分開会	ジーベックホール	無料	令和8年度S地区総会、新会員PR例会(令和7年度に入会された会員)、懇親会を行います。

総務	日時：4月27日(月) 17時00分開会 会場：事務局・Zoom 会費：無料 議題：25年度決算・26年度予算の確認 支部総会の準備 各地区例会について
組織	日時：4月3日(金) 19時00分開会 会場：バンズグリル 会費：無料 議題：仲間づくりの進捗確認 今後の仲間づくりについて
企画	日時：4月1日(水) 19時00分開会 会場：事務局・Zoom 会費：無料 議題：「経営者大賞」の振り返り 支部総会の企画準備 新年度の支部例会について
広報	日時：4月28日(火) 19時00分開会 会場：事務局・Zoom 会費：無料 議題：支部報4月号について 支部報5～6月号の企画編集 今後の支部報について
経営労働	日時：4月2日(木) 18時30分開会 会場：事務局、Zoom 会費：無料(テキスト代実費)
求人社員教育	日時：4月14日(火) 18時00分開会 会場：事務局・Zoom 会費：無料 議題：今後の求人活動 社員教育活動の計画
政策	日時：4月7日(火) 19時00分開会 会場：Zoom 会費：無料 条例勉強会「私たちはどんな町をつくるのか?」 報告者：合同呉運送(株) 瀬島高志氏 (呉支部)
バリアフリー	日時：4月8日(水) 18時00分開会 会場：事務局・Zoom 会費：無料 勉強会「精神・発達障害者の雇用と定着」 報告者：(特非) ちゃんくす 西上忠臣氏 (三原支部)
環境経営	日時：4月10日(金) 18時30分開会 会場：事務局 会費：無料 勉強会「中小零細企業が激変する市場の中で 未来を描く環境づくり」 講師：Fuku-Biz ゼネラルマネージャー 池内 精彦氏
地域内連携推進	日時：4月9日(木) 18時30分開会 会場：事務局 会費：無料 議題：新年度の委員会活動について
青年部	第42回定時総会および卒業パーティー 日時：4月6日(月) 18時30分開会 会場：福山ニューキャッスルホテル 会費：13,000円 定時総会では令和7年度の事業報告、令和8年度の役員について審議。卒業パーティーではお世話になった先輩会員へ感謝を伝えます。
女性部	福山支部女性部総会 日時：4月28日(火) 19時00分開会 会場：未定 会費：無料 これまでの1年間を振り返り、学びや実践の成果、課題を共有することで、女性経営者としての成長を確認する場とします。
有志の勉強会	ダイヤモンドクラブ ～2026年成長戦略～情勢・課題から戦略を描く④～ 日時：4月21日(火) 19時00分開会 会場：大下木型製作所 会費：無料 報告者：参加者全員 2026年を取り巻く情勢と目標と課題を報告し合います。